

図1

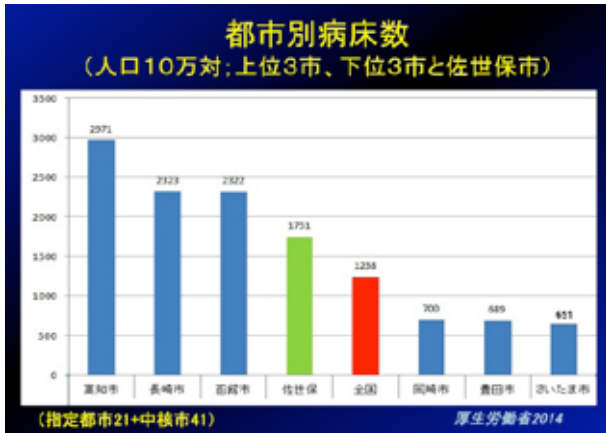


図2



図3

- ### 医療の五本柱
- ・ 救急医療
 - ・ がん医療
 - ・ 小児・周産期医療
 - ・ 高度専門医療
 - ・ 政策医療 (離島、感染症)

図4

佐世保市立総合病院 がん入院症例数県内順位

肺がん	1位
胃がん	1位
大腸がん	1位
前立腺がん	1位
肝がん	3位
子宮がん	6位
乳がん	8位

図5

3月 例会卓話者予定

- 3月2日 陸上自衛隊西部方面混成団長兼
相浦駐屯地司令 杉本 嘉章 様
- 3月9日 新会員 廣瀬 章博さん
(有)佐世保不動産
- 3月16日 佐世保青年会議所(JC)
新理事長 指山 立 様

西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定

- 日時/3月1日(火) 17:00～
会場/西海学園高等学校 記念館 会議室
- 3月より第1・3火曜日に変更となります。

長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定

- 日時/2月27日(土) 10:00～ 役員交代式
会場/長崎国際大学
- 日時/3月10日(木) 18:30(食事開始)～20:00
会場/ホテルオークラJRハウステンボス

- *西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、
メイクアップにもなりますのでご活用ください。
*RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認を
いたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当: 田口 恵介)

(カメラ担当: 岡村 一郎)

クラブ会報委員会	委員長 岡村 一郎	委員 河原 忠徳・吉田 英樹・大神 吉史
	副委員長 土井 弘志	委員 田口 恵介・上野 好章



SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長：田中丸善弥 幹 事：芹野 隆英
事務所：佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場：佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 28 年 2 月 17 日

第 3,202 回例会

NO 30

《本 日》 会員数 75 名 (出席免除会員 23 名)・出席 51 名・免除者欠席 9 名・欠席 15 名・ビジター 0 名・出席率 68.00 %

《前々回》 会員数 75 名 (出席免除会員 23 名)・出席 55 名・免除者欠席 3 名・欠席 14 名・メークアップ 14 名・修正出席率 100.00 %

会長挨拶

会長 田中丸善弥

皆さん今日は。先週は緊急の歴代会長会を開かせて頂き、本日持ち回りの理事会で承認を賜り、大地震の被害にあわれました台湾へ台南RCを通じてお見舞いをさせて頂く予定にしておりますことご了承ください。前回の東日本大震災の際には台南RCより多大なご支援も頂きましたが、この度は台南市も直接の被害をうけたようでございます。会員の意思としてお見舞いを届けたいと思います。



さて、いよいよ我が佐世保RCの創立65周年記念の式典と祝賀会の2月21日(日)が近づいて参りました。内祝とはいえ、次の70年に向けての布石になるような内容を、また若手の会員には経験を積んで頂く絶好の機会と考えております。会員の皆さんはじめ、奥様方、特別会員様のご協力を、特に橘高実行委員長、中村副委員長には最後までお世話になりますが、どうぞ宜しくご指導をお願いします。

皆で、遠路お越しくださる、台南RC、ラホヤRCの皆さんを歓迎し、この良き日を共に祝したく存じます。

以上で本日の会長挨拶といたします。

例会記録

○ロータリーソング「四つのテスト」

○卓話者

佐世保市立総合病院

院長 澄川 耕二様

幹事報告

幹事 芹野 隆英

1. 台南RC 会長 ^{オウリイ ツォン} 歐瑞崇 Plas 様
台南市地震についてお知らせ

2. 国際ロータリー日本事務局
国際ロータリー2015年10月理事会の決定事項

①会員推薦者のプログラム(認証品贈呈)が廃止

3. (公財)ロータリー米山記念奨学会

①インターネットバンキングを利用したご寄付についてのアンケート結果

②「ハイライトよねやま191号 2016年2月12日発行」が届いております。

4. 第5グループ 2016-2017年度

ガバナー補佐 武部 勝海さん

2016-2017年度ガバナー公式訪問およびガバナー補佐訪問(クラブ協議会)

佐世保RCクラブ協議会 7月6日

公式訪問 7月13日予定

5. 第2740地区ガバナー事務所

2740地区ホームページ更新のお知らせ
ホームページアドレス <http://www.d2740.org/>

6. 国際ロータリー第2740地区ローターアクト
「ローターアクトクラブニュース 12月号」が
届いております。

委員会報告

創立65周年記念式典実行委員会

副委員長 中村 徳裕

いよいよ今週末2月21日(日)、
佐世保ロータリークラブ創立
65周年記念式典及び祝賀会開
催の運びとなります。これま
での65年間、先輩方が築いて
こられた歴史に感謝しながら、132名のご参
加をいただいております。



また、これまでの姉妹クラブとの歴史につ
いては、台南扶輪社及びラホヤRCの皆様と
のお互いの訪問の歓迎に感動し、次の訪問で
は歓迎で応えるという、長年の心のこもった
交流で築いてきたものです。特に今回の65周
年は、内々のお祝いとの位置づけもあって、
お迎えする姉妹クラブ、台南扶輪社22名
の方々並びにラホヤRC3名の方々に、「訪問し
て良かった」と思っていただけのように、会
員の皆様と一同で、心のこもったお出迎えを
できたらと思っております。

当日の流れについては、別紙の資料の通
り、ホテルオークラJRハウステンボスでの
歓迎昼食会、佐世保玉屋文化ホールでの記念
式典並びに祝賀会、ウエスタナーでの2次会
まで、そして、前後の日程を含めた姉妹クラ
ブの皆様のご接待と、盛り沢山の内容となっ
ております。

それぞれの委員会の皆様、全員のご協力を
もって、成功できますように、何とぞよろし
くお願いいたします。

なお、本例会終了後に、各委員会の委員
長・副委員長、そして姉妹クラブ接待担当の
皆様による打ち合わせを予定しております。

(2)

ニコニコボックス

出席・例会委員会 筒井 和彦

○永年会員表彰

池田 豊さん (35年)

○出席100%表彰

梅村 良輔さん(25回)

円田 昭さん(23回)

田中丸善弥さん(22回)

木村 公康さん(18回)

古賀 巖さん(18回)

円田 浩司さん(12回)

大久保利博さん(4回)

池田 真秀さん(2回)

吉田 英樹さん(2回)

西村 一芳さん(2回)

大神 吉史さん(2回)



慶 祝

親睦活動委員会 松尾 文隆

田中丸善弥会長、石井 正剛さん

平尾 幸一さん、黒木 政純さん

高田 俊夫さん

佐世保市立総合病院院長 澄川耕二先生、
本日は卓話いただきありがとうございます。

田中丸善弥会長、大久保利博さん

梅村 良輔さん、池田 真秀さん

円田 昭さん、西村 一芳さん

古賀 巖さん

出席100%表彰ありがとうございます。



卓 話



『今日の医療環境と

佐世保市立総合病院の進路』

院長 澄川 耕二様



今日のがが国医療界の最大関心事は2025年問題である。これは団塊の世代がすべて75歳以上になる年であり、4人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来する。これにより医療と介護の需給バランスが崩れるとともに、医療費の高騰から国家財政の破綻が危惧される。

これに対する国の医療政策は「社会保障・税一体改革」であり、その骨子は病院の病床機能分化と在宅医療の推進である。事情は地域により大きく異なるので、医療圏ごとに2025年の医療重要を予測し、目指すべき医療提供体制を地域医療構想として策定する。佐世保県北医療圏においても、すでに有識者からなる調整会議が発足し、平成28年9月の最終案に向けて議論を重ねている(4p-図1)。

2025年に向けての病床再編の根幹を成すのは、全国的には総病床数を維持し、急性期病床の半数を回復期病床へ転換させることである。しかし佐世保県北医療圏では事情が異なり、総病床数は3割減、急性期病床は5割減という見込みである。今後2年ごとに行われる診療報酬制度改訂で急性期病床の存続は益々厳しさを増すものと思われる(4p-図2・図3)。

時代とともに変化する医療環境に柔軟に対応し、自治体病院としての使命を果たし続けるために、当院は経営形態を平成28年4月より地方独立行政法人に移行する。創立以来125年の歴史を刻んできたが、「市民の健康を守る」という使命は、これからの100年においても変わることはない。新時代に相応しい役割を果たすために、病院名称を「佐世保市総合医療

センター」と改め、新たな基本理念「地域の基幹病院として、高度な医療を総合的に提供するとともに、明日を担う医療人を育成する」を掲げた。

当院が力を入れる医療として5本の柱を立てている(4p-図4)。救急医療は年間約3000台の救急車を受け入れており、今後も三次救急を中心に救命救急センター機能の高度化を図る。がん医療は7大がん入院患者数県内トップの実績を有し、今後も診断法、手術・化学・放射線療法などがん医療の強化に取り組む(4p-図5)。小児・周産期医療はハイリスク出産や重症新生児を対象に年間約400件の分娩を扱っており、最後の砦機能をさらに充実させる。高度専門医療は当院の28診療科すべてにおいて、専門領域の高度性と先進性を追求する。5本目は政策医療であり、公共性を重んじ離島医療と感染症医療を担う。

行動目標として「三つの満足」を追求する。「患者さんの満足」に向けて、必要とされる医療を提供するとともに、医療の品質を高める。「地域の満足」に向けて、協調を基盤とする医療資源の活用により地域の品質を高める。「スタッフの満足」に向けて、一人ひとりが成長の機会を得られるような活力ある職場を作る。

佐世保市総合医療センターは、創立以来の精神を受け継ぐとともに未来へと継承し、時代の要請に応える新しい病院として進化を図る。

以上

澄川院長プロフィール

1947年 島根県益田市に生まれる
 1972年 大阪大学医学部卒業
 1992年 長崎大学医学部麻酔科教授
 2001年 長崎大学医学部附属病院院長(併任)
 2013年 済生会長崎病院院長
 2015年 佐世保市立総合病院院長 現在に至る

学会関係:

2008年 日本蘇生学会会長
 2010年 日本麻酔科学会会長
 2010年 アジアオーストラレーシア麻酔学会会長

主な著書:

「TEXT麻酔・蘇生学」、「高齢者の周術期管理」、
 「麻酔前の評価・準備と予後予測」、他多数

趣味:

テニス、ゴルフ、スキー、柔道、などスポーツ